

舟七 車輪

平成16年7月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197

第90号

5・6・7月の行事について

新規ボランティア養成訓練

5月22、23日に新規ボランティア養成訓練を行いました。以下の2名の方が参加されました。

石黒 達郎(いしぐろたつお)さん
山形 博英(やまがたひろてる)さん

また、7月10、11日に以下の3名の方が訓練に参加されました。

川口 幸恵(かわぐちさちえ)さん
赤松 あつ子(あかまつあつこ)さん
塚田 潤(つかだじゅん)さん

この中には、海王丸ボランティアの紹介により参加された方、海王丸に研修でこられた方、総帆展帆の姿に魅了されて来られた方がいらっしゃいました。人と人のつながりが海王丸を通じて広がっております。協力・協調・友愛を以て、更に海王丸ボランティアの発展を目指し、海王丸の総帆に新しい風を吹かせましょう。

6月6日 総帆展帆

今年度第3回目の総帆展帆は、午後から多少の雨が降るなか、フリーマーケットに集中する来客の足を止めさせ、目を釘付けにさせることができました。展帆作業は、スムーズになってきました。

天候：曇り一時雨 参加人数80名
展帆状態：スターボードタック2p'ts

あこがれ寄港

6月15日から24日の間、大阪の帆船あこがれが伏木富山港に入港しました。寄港中は、小学生や一般を対象にした体験学習や展帆作業・一般公開を実施し、大いに賑わいました。海王丸ボランティアも体験航海やセイルドリルに参加され、普段とはひと味違った経験ができました。



7月4日 総帆展帆

第4回目の総帆展帆は、気温30度という暑さでした。作業は順調でしたが、ヤードのハリヤードを引く力が若干弱かったようです。夏バテ・熱射病を防止し、安全作業に努めましょう。

天候：曇り一時雨 参加人数80名
展帆状態：スターボードタック3p'ts

登しょう礼について

6月13日、27日に登しょう礼の練習を実施しました。船の最高儀礼である登しょう礼は、練習であっても海王丸パークに来場した方々から自然に拍手が起こるすばらしいものでした。その練習の成果は7月19日の総帆展帆開始前に披露することができました。今年は、48名のボランティアの協力のもと、会場を感動の渦が包み込みました。来年はさらなるご参加をお待ちしております。

7月19日 総帆展帆

第五回目は、南西の風が吹き、帆に上手く風が入るか、雨が降らないか等心配事項もありましたが、展帆作業は約1時間と短時間かつ安全な作業ができました。

天候：曇り 参加人数：79名
展帆状態：ポートタックシャープアップ

ボランティア表彰について

7月19日「海の記念日」の展帆終了後、総帆展帆100回参加の海王賞、50回参加の紺青賞の表彰式が行われました。受賞者は下記の方々です。おめでとうございます。今後とも海王丸の発展にご協力をお願いいたします。

海王賞（展帆） 2名
No.113 明神 外二 さん
No.243 山口 信子 さん

紺青賞（展帆） 10名
No.096 藤井 睦子 さん
No.271 長谷 孝一 さん
No.310 福田 幸子 さん
No.357 三村 二郎 さん
No.371 森田 祐正 さん
No.410 中村 真一 さん
No.421 山本 静子 さん
No.434 白井 孝雄 さん
No.435 立野 節子 さん
No.441 飯沼 邦子 さん

8・9月の行事予定

総帆展帆

日に日に気温が上昇しています。展帆中の熱中症などを防止することが必要です。展帆日に来船されても、体調不良の場合は無理をされず、甲板上での支援をしていただくなど無事故を心がけてください。

日 時： 8月 1日（日）
9月 12日（日）
午前10時～（受付は9時から）
場 所：更衣：研修室
集合：第一教室
その他：以降の参加・不参加のご記入を返信はがきをお願いいたします。

カッターレースについて

8月29日（日）にカッターレースが行われます。仲の良い友人と息のあったチームを結成してレースに参加しませんか。団結力の高さが勝負を左右します。多数のご応募をお待ちしております。

参加条件：
一般の部 / 15歳以上、8～14名
（予備クルー1～6名含む）
女性クルー参加のフォローアップ等の設定は行わない
女性の部 / 一般の部と同様
（艇指揮、艇長は男性でも可）
中学生の部 / 中学1～3年生で6名

児童の部 / 小学4～6年生で12名
中学生及び児童の部については、漕ぎ手のみでも可。財団職員が艇指揮及び艇長を務めます。

競技形式：

一般の部 / 400m回頭
トーナメント方式
女性の部 / 400m回頭
タイムレースもしくは
トーナメント方式
中学生の部 / 200m直進
各レースで順位を決定
児童の部 / 200m直進
各レースで順位を決定

参加費：一人500円
（児童・中学生は無料）

参加賞：Tシャツ

練習日時： 8月 8日（日）
8月 22日（日）
両日とも13:00～16:00

申込み〆切日：7月31日（土）

なお、レース参加以外に「運営のお手伝いをしていただけるボランティア」の方も募集しております。同封の返信用はがきに合せて、ご記入をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは海事課まで



海王丸パークのイベントについて

9月19日（日）、20日（祝）に海王丸パークでフリーマーケットが行われます。また、19日（日）には「親子みなと見学の集い」という観光船でのクルージングも行われますので、皆様のご来園をお待ちしております。

新規ボランティア養成訓練

9月25日、26日に新規ボランティア養成訓練を予定しています。新規ボランティアの登録数を増やし、安定した展帆作業の実施のためにもお知り合いの方々に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、海事課までご連絡をお願いいたします。

お知らせ

海王丸木甲板ピッチ流し工事

9月13日(月)から9月24日(金)の間に、海王丸の木甲板コーキング・ピッチ流し工事を行います。乗船にあたってはご不便をお掛けいたしますが、ご容赦ください。また、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、いつでもお越しください。なお、天候等の都合により、作業の状況は変更いたしますので、詳細等お知りになりたい方は、海事課までご連絡をお願いいたします。

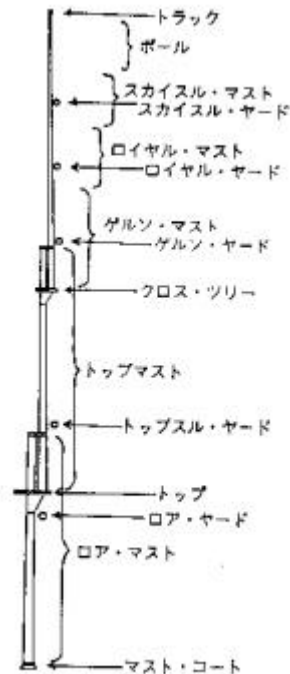
「SPlicing THE MAIN-BRACE」

梅雨明け間近で、湿気を帯びた暑い日が続いています。こんな時は集中力が途切れると、高所作業において非常に危険な状況になります。ボランティアの皆さんの中には、既に10年以上も展帆作業をお手伝いいただき、ごく当たり前のようにマストに登る方も多いと思いますが、初心を忘れず、常に安全第一でありたいものです。それと同時に、仕組みを十分に理解していただきたいと感じています。そこで今回は、前々号からの続きとして、帆船のシンボルとも言える「マスト」についてご紹介します。

最初のマストは1本の木から削りだしたものでしたが、船体が大きくなるにしたがって、下方のマストの前面に沿わせて、上方のマストを重ねていくことにより、次第に高く作るようになりました。帆船のことを、通称「トール・シップ：Tall ship」と言いますが、クリッパー・シップは、船の長さの割に随分高いマストを持っていたことからのようです。

1本のマストは、下方からロア・マスト、トップ・マスト、ゲルン・マスト、ロイヤル・マスト、スカイスル・マスト、ムーンスル・マストの順に構成されます。各構成部分は分解することができ、また、上方の構成部分をはじめから備えていない場合もありました。ロア・マストの下端は甲板を突き抜けて船底のキール(船底中心部を船首から船尾まで縦通する、船の背骨とも言うべき最も重要な部材)に達しており、各

甲板の貫通部分には、マスト・コートと呼ばれる、甲板の水漏れを防ぐためのカバーがあります。マストの最上方には旗を掲揚するためのポールと、上端には旗ひも(フラッグ・ライン)用の滑車を付けたトラックがあります。



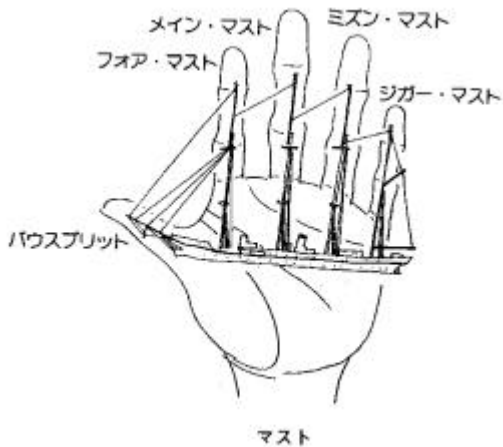
基本的なマストの構成

鋼製マストの場合は、1本のマストの各構成部分の一部又は全部を一材で作ることが多く、また、上方の構成部分には、やはり木材を使うのが普通でした。すなわち、末期の鋼製4本マスト・パーク(海王丸のような船)では、ロア・マストとトップ・マストが鋼鉄の一材となり、ゲルン・マストとロイヤル・マストが1本の木でできていたほか、ジガー・マストの場合には鋼鉄のロア・マストと木のトップ・マストの組み合わせで外観が一材のように見えました。

海王丸は、下方のマストをオレンジ色、上方のマストを黒色、ポールを白色としているので、外から見るとマストを組み合わせていることがよくわかります。また、平成6年度及び9年度の改修工事で、上方のマスト及びライト・ヤード(ゲルン・ヤード以上、上方3本)を、安全上からすべて鋼製としました。その際、取り外した木製のマスト及びヤードの一部を海王丸パーク内に展示し、来園の方々に触れられるようにしていることは、既にご存じの方が多いと思います。

ところで、海王丸のマストを横から眺めると、各マストは後方へ傾斜して見えます。クリッパー・シップの場合はもっと顕著ですが、これは、ボルチモア時代の名残と思

われます。当時は、高くて後方へ十分に傾いたマストが、速力を出すのに非常に重要であると考えられていました。言うまでもなく、ある程度の後方傾斜はバック・ステイ（マストを後方に引っ張っている支持索：操帆教本参照）の力を増し、船が逆浪に突っ込んでいくような状態のとき、マストが前方へ倒れようとする力に対抗するための役に立ちます。また、風は水平よりも上方に向かって吹くという考え方からすれば、横帆船の場合、マストの後方傾斜はごく自然です。要は、マストの傾斜と、間隔と、船体との調和のとれた結合にあると言えます。海王丸では、フォアマストが3度、メインマストが4度、ミズンマストが5度、そして、ジガーマストが6度というふうに、前方から順に1度ずつ後方への傾斜を増していき、各マストが僅かに扇形に開いて見えます。



皆さんも、次の総帆展帆のとき、あるいは海王丸を見たときには、右手を（上図のように）広げてみてください。後方傾斜の様子、メインマストが一番高いことがわかれると思います。

参考文献：帆船（艦装と歴史編） 舵社

質問コーナー

（質問）海王丸には何人の人が働いているの？ 堀岡小学校児童

（答え）船長を含めて11名です。

（質問）海王丸の名前はどこから付いたの？ 作道小学校児童

（答え）“日本の海の王者たれ”という願いを込めて日本丸・海王丸という名前が帆船に付けられました。

（質問）海王丸の“丸”って何？

作道小学校児童

（答え）これには3つ程の説があります。1つ目は、城の建物に使われる名

前で“本丸・西の丸・・・”のようなものという説。

2つ目は、昔の子供の名前のように大切なものの名前についていたという説。例えば、豊臣秀吉の幼少の名前は“日吉丸”でしたね。

3つ目は、日本国旗の“日の丸”から付いたという説。

いずれにしても、船を大切な物として位置づけられた名前であるという共通点があります。

危険予知トレーニングvol.7

前回89号vol.6の答え

1. 両手に重い物を持ち、歩み板を渡っているのに、バランスをくずして海中に転落する。
2. 歩み板がはずれて、海中に転落する。
3. 歩み板が折れて、海中に転落する。

下のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。



ハッチカバー開閉作業中。

答えは次号で！

（船員災害防止協会刊：商船K Y Tイラストシート集シート54より抜粋）

終わりに

総帆展帆にご参加いただいているボランティアの方々には頭が下がる思いです。

健康維持の秘訣などございましたら教えてください。私は、頑丈そうで実はよく風邪をひきます。熱はあまり高くなりませんが、鼻風邪が多いです。皆様も、夏風邪や脱水症状などに気をつけてお過ごしください。（ごっしー）